

# 建て主も現場へ行こう

住宅の現場チェックシート



工事名 \_\_\_\_\_

自 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( )

至 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ( )



一般財団法人 北海道建築指導センター



## 目 次

自分の目で確認しましょう	1
現場チェックシートの使い方	3
工程表	4
1 現地確認及び仮設工事	5
2 基礎工事	7
3 木工事	9
4 屋根工事	11
5 外部サッシ工事(窓・玄関扉)	12
6 断熱気密工事	13
7 外壁工事	15
8 内部建具工事	16
9 左官・タイル工事	17
10 塗装工事	18
11 内装工事	19
12 家具工事	21
13 仕上げユニット工事	23
14 電気工事	25
15 設備工事	27
16 シックハウス対策	29
17 外構工事	31
18 引渡し前に	32
参考図面	33

## 自分の目で確認しましょう

### 住宅を取得することは大事業です

住宅を取得することは一生のうちの一大事業の一つです。しかし、注文住宅では、実物を確認できない状態で、高額の契約を結び施工してもらうことになります。だからこそ、工事着工前の設計の打ち合わせや図面内容の確認がとても大切ですし、着工後の工事監理も重要になります。

### 工事監理は信頼できる建築士に依頼します

住宅の工事は、建主にとっては理解することが難しい施工内容もあります。建築基準法には「工事監理者は建主が定める」と規定されており、工事監理は信頼できる建築士に依頼する必要があります。工事施工者の社員が工事監理をする場合も多く見られますが、施工者以外の第三者の建築士に依頼する方法もあります。工事監理者の説明を受けながら現場を確認すると、専門的な内容の理解度が深まります。

### 建主にも必要なチェックがあります

安心して住宅を建てるには信頼できる建築士に監理をしてもらうだけでなく、自分で現場を見ることも必要です。

この「現場チェックシート」は、建主が現場の進行に合わせて大切な項目をチェックしたり、設計段階で依頼したことが現場できちんと実現しているか確認するのに役立つ様に編集してあります。

建主にとって重要なものとして、次のような視点が挙げられます。

- ・自分達にしか分からないこと（生活感・体調・色柄選びなど）
- ・近所付き合いに影響すること（落雪・堆雪スペース・塀の設置など）
- ・完成後に確認できない性能に関わること（構造材・断熱材・気密施工など）
- ・維持管理に関わること（分電盤・水抜栓の位置、配管経路など）
- ・現場を見て（不都合に）気がつくこと（窓の位置や高さ、仕上材の範囲など。建主の都合で工事の変更を依頼すると、請負金額の増額等が発生するのが原則です。）

これから長く住み続ける上で、現場で確認した方が良い事や、現場でしか確認できないことがあります。

### 出来る範囲で自分の目で確認し記録を残しましょう

建設現場が、お住まいから遠かったり、仕事の都合で時間が取れなかったりすると、なかなかこのチェックシートの全項目をチェックするのが難しいかもしれませんが、できる範囲で、住宅が完成するまでの工程を自分の目で確認し、写真やビデオの記録として残しておくといいでしょう。

### 設計図面が大切

打ち合わせた内容が、設計図面に反映されていると、現場での確認がしやすくなります。設計図面がきちんとしていないと、現場で確認のしようがありません。

### 工事監理とは

工事監理とは実際の工事状況を設計図書と照合し、それが設計図どおりに実施されているかどうかを責任を持って確認することを言います。また、工事監理をする人を工事監理者と言います。

建築基準法では、100㎡を超える住宅を新築する場合は、建主は建築士である工事監理者を定めなければなりません。

工事監理を施工者とは別の建築士に依頼するときは、設計の業務契約、工事請負契約のほかに工事監理業務契約を結ぶことになります。

### きた住まいのサポートシステムの活用

住宅の建設においては、設計者又は施工者は施工工程ごとの現場写真などをきた住まいのサポートシステムに入力します。

入力された内容は、建主がウェブ上で見ることもできますので、現場のチェックがより確実なものとなり、記録も残すことができます。

きた住まいのサポートシステムはこちらから → <http://www.h-rireki.jp/users/login>

### 隣近所にあいさつしましたか？

住宅の工事にかかる前に、建主が隣近所にあいさつしなければならないというきまりはありません。しかし、入居後は地域の方と長いおつきあいになるのが一般的ですので、工事の段階から建主が隣近所の方とコミュニケーションをとることが望ましいことは言うまでもありません。

建主が適時にあいさつに回ることは、建主の仕事のひとつです。

「工事現場で苦情があった時はできるかぎり施工者が矢面に立って、近所の方と建主が直接トラブルにならないようにするため、建主は工事前にあいさつに回らないでください」という建築会社もあるようですが、あいさつをするかどうかはご自身で判断しましょう。

## 現場チェックシートの使い方

現場チェックシートには、施工順序に沿った工事項目ごとに、現場で確認したいポイントやチェック項目をあげています。これらの前にはチェックボックス（□）を付けていますので、確認した項目にはチェックを入れましょう。各工事項目ごとに照合する図面を例示しています。

現場には、工事監理者や施工の責任者である主任技術者が、責任のある専門家として携わっています。現場の確認には、専門的な知識が必要な項目もありますので、分からないことは、専門家に確認しましょう。専門家でなければ的確に判断することが難しいことに、いたずらに悩んだり、不信感を抱くのではなく、専門家に説明してもらい、工事関係者との信頼関係を深めていけるような、現場チェックシートの使い方が理想です。

この現場チェックシートに記載されているチェック項目等は、工事に関係する専門家が必ず確認するものです。

現場で確認したい内容は、建主によって様々です。このため、この現場チェックシートには、数多くのチェック項目を記載しています。全ての項目をチェックしようとするより、無理のない範囲で、ご自身にとって大切な項目を確実にチェックするのが現実的です。

現場チェックシートに設定されているチェック項目等は、木造の在来軸組構法を中心に設定していますが、別の構造や木造でもパネル化された住宅などでは、項目が異なる場合があります。そのような場合は、各工事項目の余白にメモをとるなどして、専門家に確認しましょう。

### ＜記載例＞

6 新築気密工事
使う図面【仕上裏・平屋図・地盤図】

**ポイント**

- ・建物の快適性に関わる大切な工事で、完成後には見えなくなります
- ・施工の丁寧さで性能が変わります
- 断熱材が設計どおりの種類・厚さで施工されていますか
- 断熱材が隙間なく施工されていますか
- 気密フィルムが、連続して施工されていますか
- 気密フィルムの重ね合わせに部分に気密テープが貼られていますか  
(重ね合わせ部分が、柱・間柱等とボード等で押さえられる場合は気密テープを巻くことができます)

現地確認（立会者：□工事監理者 □主任技術者 □その他：工主等）  
確認日（□□年 □月 □日、□月□日、□日）

**現場の状況（参考写真）**

  
断熱材

  
柱断熱

  
気密気密フィルム

**詳細チェックリスト**（できるだけ、チェックリストを渡ってチェックしてきましょう）

<input type="checkbox"/> 断熱材種・工法 使用材料・厚さ □K、□基礎断熱	□基礎断熱（□外断熱 □内断熱 □両面断熱） □使用材料： <del>高品質ウレタンフォーム</del> <span style="color: red;">ポリイソシアネートフォーム</span> □厚さ：120mm	} ①
<input type="checkbox"/> 窓（□気密断熱材 □アロイインザ □その他） <input type="checkbox"/> 使用材料 <input type="checkbox"/> 厚さ	□気密断熱材のみ □内気密断熱のみ □気密断熱材+両面断熱 □使用材料：アロイインザ + 高品質ウレタンフォーム □厚さ：120mm 20mm	} ②
<input type="checkbox"/> 気密材（□アロイインザ □その他） <input type="checkbox"/> 使用材料：アロイインザ <input type="checkbox"/> 厚さ	□気密断熱材 □両面断熱 <input type="checkbox"/> 使用材料 <input type="checkbox"/> 厚さ	} ③

※）内容は必ず熟読されます。図面と実地及び施工要領は、使用するケースも異なりますが、基本的には、どちらかを参照してください。

## 工程表

工事項目ごとに予定を立て、表にしたものが工事工程表です。一般的には、下のよ  
うな棒チャートが多く使われています。

工程表	6月	7月	8月	9月
仮設工事	やり方			美装
基礎工事	土工事・鉄筋コンクリート工事			
木工事	プレカット 土台敷・建方		造作	
屋根工事		板金		
外部サッシ工事		サッシ製作	取付	
断熱気密工事			壁	屋根
外壁工事			外壁張り	
内部建具工事			製作	取付
左官タイル工事	土台天端均し		玄関タイル張り	基礎モルタル仕上
塗装工事			外部	内部
内装工事			床フローリング張り・クロス張り	
家具工事			製作	取付
仕上ユニット工事			ユニットバス取付	キッチン取付
電気工事		配線	配線	器具取付
設備工事	配管		配管	器具取付
外構工事				犬走り
	建主が関わること △地鎮祭(着工)	△上棟式		△検査 △引渡し

**着工前には** ・設計契約（設計を施工者と別の設計事務所等に依頼する場合）  
・工事監理契約（工事監理を施工者と別の設計事務所等に依頼する場合）  
・工事請負契約 が、結ばれます。

工事請負契約において支払条件を3回に分けるのであれば、例えば着工時2/10・  
中間3/10・完了時5/10 のような設定がいいでしょう。

※ 着工前に設計が完了していることが必要です。

**引渡前には** 建築基準法（確認申請）による完了検査・施工会社による社内検査を受けます。  
建主も、建主の目で完成した住宅を確認しましょう。

※ 確認申請（検査）が不要な地域もあります。

**引渡後には** 登記（表示登記・保存登記・抵当権設定登記（住宅ローンを利用する場合））をします。  
工事費残金・増減額の確認をして、最終金額の支払いをします。



## 詳細チェックリスト（できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう）

<input type="checkbox"/> 地盤高さの基準（GL）※4	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認
<input type="checkbox"/> 敷地の傾斜 ※5	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認
<input type="checkbox"/> GLから1階床までの高さ	<input type="checkbox"/> 外階段の段数・蹴上寸法・踏面寸法 ( <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認)
<input type="checkbox"/> 建物の位置	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認
<input type="checkbox"/> 宅地枳の位置	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認
<input type="checkbox"/> 電気・電話の引込位置※6	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認
<input type="checkbox"/> 屋外散水栓位置	<input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認

※4 敷地は必ずしも平坦ではありません。道路と高低差がある場合があります。GLとは建築物の高さの基準で、道路から玄関や駐車スペースまでの高さの設定に問題がないか等をチェックします。

※5 敷地の傾斜は、やり方天端から地面までの高さを測ることで、概ね確認できます。

※6 電柱などが、敷地への出入りに支障のある位置にないか、確認しておきましょう。

### やり方

基礎工事前に、壁の位置・高さの基準等を確定するために、設置する仮設の木杭。水平に設置された横杭を高さの基準にします。

### GL（グランドライン）

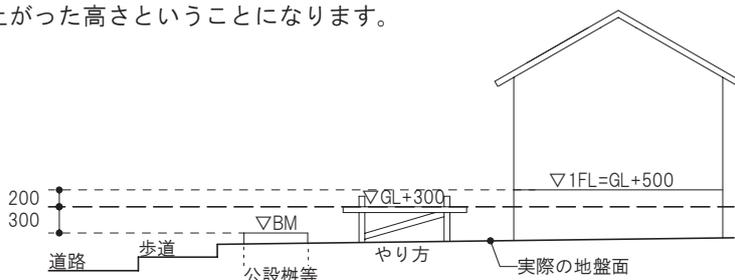
設計上の高さの基準です。

### BM（ベンチマーク）

工事をする際の高さの基準点です。道路境界の縁石天端や、マンホールのふた等、工事中に動かないものの高さをBMとします。

#### 例えば

- ・ 1FL（1階床仕上げの高さ）＝GL＋500
  - ・ やり方天端に GL＋300
- と書かれていた場合、完成時の1FLは、やり方天端より200mm上がった高さということになります。



※ GL＝BM の場合（BMが仕上がりの地盤面の高さとなります）



## 詳細チェックリスト（できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう）

<input type="checkbox"/> 基礎の配筋 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 鉄筋径 <input type="checkbox"/> 鉄筋間隔 <input type="checkbox"/> かぶり厚さ
<input type="checkbox"/> 床下	<input type="checkbox"/> 床下防湿シート <input type="checkbox"/> 防湿コンクリート <input type="checkbox"/> 床下換気口（床断熱の場合のみ）
<input type="checkbox"/> 断熱材 （基礎断熱の場合）	<input type="checkbox"/> 種類 <input type="checkbox"/> 厚さ
<input type="checkbox"/> 人通口	<input type="checkbox"/> 位置・大きさ
<input type="checkbox"/> 水抜栓	<input type="checkbox"/> 位置
<input type="checkbox"/> アンカーボルト※3	<input type="checkbox"/> 位置
<input type="checkbox"/> ホールダウン金物※4 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 位置
<input type="checkbox"/> 床下換気口※5 （床断熱の場合）	<input type="checkbox"/> 位置

※3 建物の角と、間隔2.7m以内毎に、基礎と土台を緊結するために基礎に埋設されます。

※4 基礎と柱を直接緊結するためのアンカーで、建物の角の柱には設置されることが多いです。

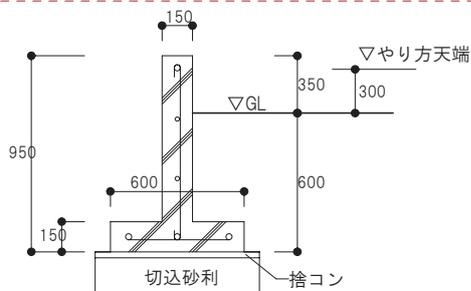
※5 床断熱の場合は、外壁の床下部分に、5m以内毎に300㎡以上の床下換気口を設ける必要があります。

### かぶり厚さ

コンクリートの表面から、鉄筋の表面までの距離のことです。

#### 例えば

・図面で、基礎の寸法が右図  
 ・やり方天端に  $GL + 300$   
 と書かれていた場合、現場ではGLを確認できませんので、やり方天端より50mm上がった高さが基礎天端、やり方天端より900mm下がった高さが基礎下端ということになります。



ポイント

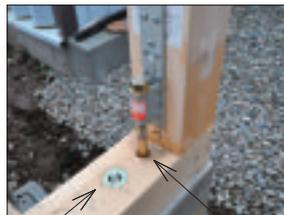
- ・ 建物の構造強度を決める重要な工事です
  - ・ 仕上がると大切なチェックポイントはほとんど見えなくなります
    - 土台が基礎とアンカーボルトで留められていますか
    - 柱が基礎とホールダウンアンカーで留められた箇所がありますか
    - 柱・筋かいの位置が図面どおりになっていますか
- (現場では、仮の斜め材を打っていますので、見間違わない様にしましょう)

現地確認 (立会者:  工事監理者  主任技術者  その他: )  
 確認日 ( 年 月 日、 )

現場の状況 (参考写真)



土台・柱



アンカーボルト  
ホールダウン金物



梁



火打ち金物



筋かい



筋かい金物



構造用面材



防腐処置

詳細チェックリスト (できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう)

<input type="checkbox"/> 土台 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 集成材 <input type="checkbox"/> 乾燥材 <input type="checkbox"/> アンカーボルト ( <input type="checkbox"/> 施工位置・間隔 <input type="checkbox"/> 施工状況 ) <input type="checkbox"/> 防腐処理 ( <input type="checkbox"/> 薬剤処理 ( <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 現場塗 ) <input type="checkbox"/> 高耐久樹種 ( 樹種名 ) ) )
---	--







## 6 断熱気密工事

使う図面 [仕上表・平面図・矩計図]

### ポイント

- ・ 建物の快適性に関わる大切な工事で、完成後は見えなくなります
- ・ 施工の丁寧さで性能が変わります
  - 断熱材が設計どおりの種類・厚さで施工されていますか
  - 断熱材が隙間なく施工されていますか
  - 気密フィルムが、連続して施工されていますか
  - 気密フィルムの重ね合わせに部分に気密テープが張られていますか  
(重ね合わせ部分が、柱・間柱等とボード等で押さえられる場合は気密テープを省略できます)

現地確認 (立会者：工事監理者 主任技術者 その他： )  
 確認日 ( 年 月 日、 )

### 現場の状況 (参考写真)



天井断熱



付加断熱



防湿気密フィルム



### 詳細チェックリスト (できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう)

<input type="checkbox"/> 断熱部位・工法 ・使用材料・厚さ <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 基礎 ( <input type="checkbox"/> 外断熱 <input type="checkbox"/> 内断熱 <input type="checkbox"/> 両側断熱 ) <input type="checkbox"/> 使用材料： <input type="checkbox"/> 厚さ：	※1
	<input type="checkbox"/> 床 ( <input type="checkbox"/> 充填断熱 <input type="checkbox"/> ブローイング <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 使用材料： <input type="checkbox"/> 厚さ：	
	<input type="checkbox"/> 外壁 ( <input type="checkbox"/> 充填断熱のみ <input type="checkbox"/> 外張断熱のみ <input type="checkbox"/> 充填断熱+外張断熱 ) <input type="checkbox"/> 使用材料： <input type="checkbox"/> 厚さ：	
	<input type="checkbox"/> 天井 ( <input type="checkbox"/> ブローイング <input type="checkbox"/> その他 ) <input type="checkbox"/> 使用材料： <input type="checkbox"/> 厚さ：	※1
	<input type="checkbox"/> 屋根 ( <input type="checkbox"/> 充填断熱 <input type="checkbox"/> 外張断熱 ) <input type="checkbox"/> 使用材料： <input type="checkbox"/> 厚さ：	

※1 外壁は必ず断熱されます。屋根と天井及び床と基礎は、併用するケースもありますが、基本的には、どちらかを断熱部位とします。

## 現場の状況（参考写真）



防風層



先張りシート



ユニットバス回り



窓回り



配管貫通部



配線貫通部



コンセント用気密ボックス



気密シートの重ね合わせ

## 詳細チェックリスト（できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう）

<input type="checkbox"/> 断熱材の施工状況 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 基礎 <input type="checkbox"/> 床 <input type="checkbox"/> 外壁 <input type="checkbox"/> 天井 <input type="checkbox"/> 屋根
<input type="checkbox"/> 気密工事 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 材質： <input type="checkbox"/> 重ね ※2 <input type="checkbox"/> 破れ  <input type="checkbox"/> 先張りシート ※3 <input type="checkbox"/> ユニットバス回り ※4 <input type="checkbox"/> 気密処理 <input type="checkbox"/> 窓周り <input type="checkbox"/> テープ処理 <input type="checkbox"/> 基礎と土台の取合部分（ <input type="checkbox"/> 使用材料：            ）  <input type="checkbox"/> 配管・配線貫通部 <input type="checkbox"/> テープ処理 <input type="checkbox"/> スイッチ・コンセント部 <input type="checkbox"/> 気密ボックス <input type="checkbox"/> テープ処理 <input type="checkbox"/> 防風材（ <input type="checkbox"/> 透湿防水シート <input type="checkbox"/> その他：            ） <input type="checkbox"/> 施工状況

※2 気密シートは、下地材のある部分で100mm以上重ね合わせます。

※3 納まりによっては、気密処理が必要ない場合がありますので、わからない場合は、工事監理者や主任技術者に聞いてみましょう。

※4 ユニットバスで隠れる外壁側も、他の外壁と同様の断熱気密が施工されているかどうか、確認しましょう。









## 1 1 内装工事

使う図面 [仕上表・平面図・矩計図・展開図]

### ポイント

- ・ 建主の好み最も反映される工事です
- ・ 引渡後のメンテナンスにも注意しましょう
- 打ち合わせどおりの色・柄になっていますか
- 図面どおりの範囲に施工されていますか  
(塗装範囲等の変更希望があれば、早めに主任技術者等に伝えて、金額の変更等の確認をしましょう)

現地確認 (立会者: □工事監理者 □主任技術者 □その他: )  
 確認日 ( 年 月 日、 )

### 現場の状況 (参考写真)



フローリング・畳



クッションフロア



ビニール製巾木



木製巾木

### 詳細チェックリスト (できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう)

□床材	□フローリング □OK □要確認	□種類 (□合板 □無垢材) □厚さ □色・柄 □範囲
	□クッションフロア (CF) □OK □要確認	□色・柄 □範囲
	□畳 □OK □要確認	□種類 □縁の色 □範囲 □段差 (□有 □無)
□巾木	□OK □要確認	□種類 (□木製 □ビニール製) □高さ □色・柄 □範囲

## 現場の状況 (参考写真)



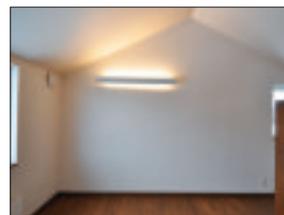
壁クロス



羽目板



天井合板

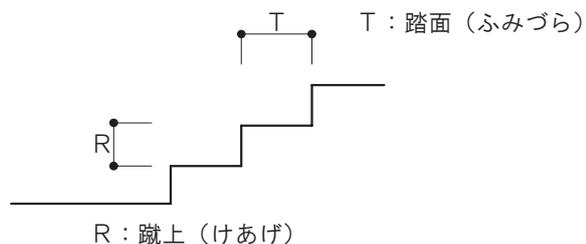


天井クロス

## 詳細チェックリスト (できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう)

□壁	□クロス □OK □要確認	□種類 (□ビニール製 □布製) □柄 □範囲
	□木材 □OK □要確認	□種類 (□羽目板 □合板) □張り方 □材種 □範囲
	□塗り壁 □OK □要確認	□種類 (□珪藻土 □塗料) □塗り方 □色 □範囲
□天井	□クロス □OK □要確認	□種類 (□ビニール製 □布製) □柄 □範囲
	□木材 □OK □要確認	□種類 (□羽目板 □合板) □張り方 □材種 □範囲
	□吸音板 □OK □要確認	□種類 □色・柄 □範囲
□階段	□寸法 蹴上 (R) 踏面 (T) ※1 □仕上げ (□集成材 □ジュータン □その他) □手摺 (□使用材料 □取付高さ) (□OK □要確認) □段鼻の滑り止め (□溝 □その他)	

※1

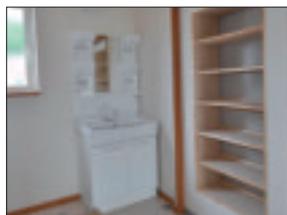




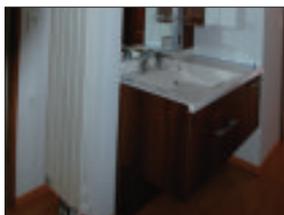




**現場の状況**（参考写真）



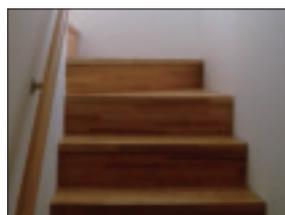
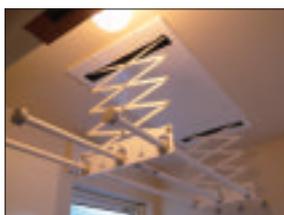
洗面化粧台



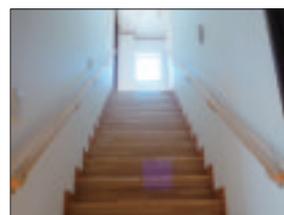
便器



洗濯物干し



階段手摺



**詳細チェックリスト**（できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう）

<input type="checkbox"/> 洗面化粧台 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類 <input type="checkbox"/> 色・柄 <input type="checkbox"/> 洗面ボール <input type="checkbox"/> 水栓 <input type="checkbox"/> 取付状況
<input type="checkbox"/> 便器 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類（品番                    ） <input type="checkbox"/> 色 <input type="checkbox"/> 暖房・洗浄便座 <input type="checkbox"/> 施工状況
<input type="checkbox"/> 手摺 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類（ <input type="checkbox"/> 階段 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> その他（            ）） <input type="checkbox"/> 使用材料 <input type="checkbox"/> 設置位置 <input type="checkbox"/> 施工状況
<input type="checkbox"/> 洗濯物干し <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類（ <input type="checkbox"/> 電動 <input type="checkbox"/> 手動） <input type="checkbox"/> 設置位置 <input type="checkbox"/> 施工状況







**現場の状況**（参考写真）



フラット型水抜栓



伸縮型散水栓



水道メーター



床下点検口

**詳細チェックリスト**（できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう）

<input type="checkbox"/> 床下点検口 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 設置位置
<input type="checkbox"/> 天井点検口 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 設置位置 <input type="checkbox"/> 気密性
<input type="checkbox"/> 水抜栓 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 設置位置 <input type="checkbox"/> 種類（ <input type="checkbox"/> 電動 <input type="checkbox"/> 立上りタイプ <input type="checkbox"/> フラットタイプ）
<input type="checkbox"/> メーター <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 設置位置
<input type="checkbox"/> 散水栓 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 設置位置

ポイント

- ・ F☆☆☆☆ ※<sup>1</sup> を確認しましょう  
 (下地材・仕上材で対象材料があります) ※<sup>2</sup>
- ・ 建築基準法で規制されていて、確認申請書・建築完了届に記載されていますので、その内容を確認しましょう
- ・ 入居前に化学物質濃度を測定する場合は、ご自身で購入された家具を入れる前に測定されるのが良いでしょう

現地確認 (立会者:  工事監理者  主任技術者  その他: )  
 確認日 ( 年 月 日、 )

- ※<sup>1</sup> シックハウスの原因となるホルムアルデヒドの発散量を示すマーク。  
 F☆☆☆、F☆☆になるほど発散量が多い。  
 F☆☆☆☆は、発散量が建築基準法の規制対象外の少なさであることの印です。
- ※<sup>2</sup> 合板・木質系フローリング・集成材・壁紙・接着剤・塗料など

現場の状況 (参考写真)



OSB



クロス



フローリング



塗料



接着剤



グラスウール



押出法ポリスチレン板

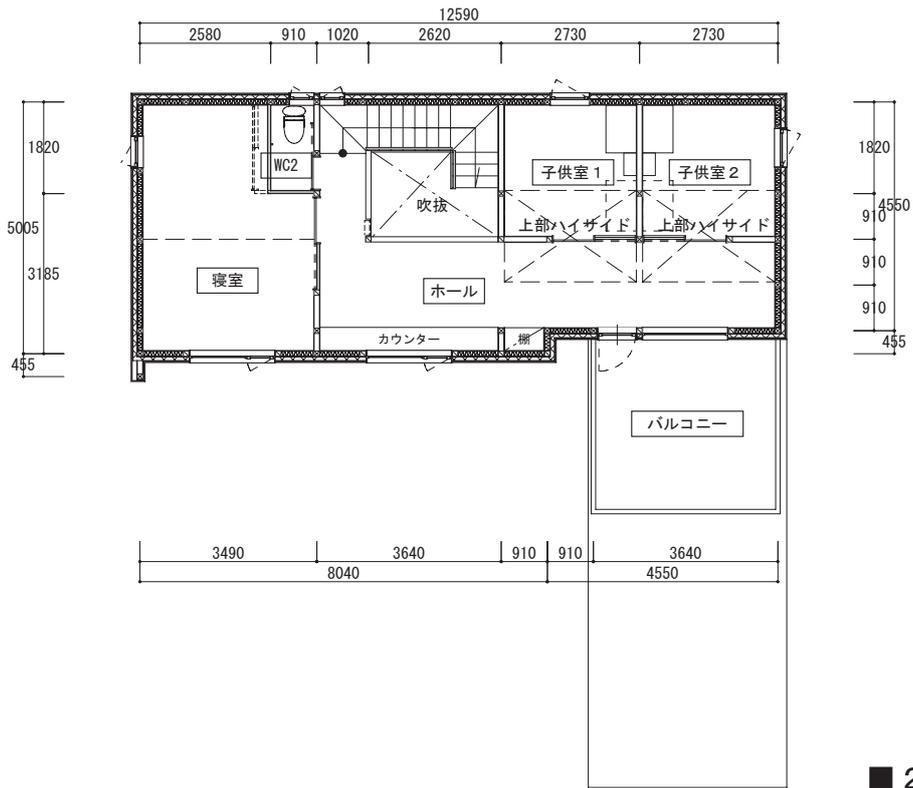
**詳細チェックリスト**（できる方は、チェックリストを使ってチェックしてみましょう）

<input type="checkbox"/> 合板 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類（合板・OSB） <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆の確認
<input type="checkbox"/> クロス <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類 <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆の確認
<input type="checkbox"/> 接着剤 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類 <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆の確認
<input type="checkbox"/> 断熱材 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類（ <input type="checkbox"/> グラスウール <input type="checkbox"/> 発泡ポリスチレン板） <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆の確認
<input type="checkbox"/> 建材 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類 <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆の確認
<input type="checkbox"/> 塗料 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類 <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆の確認
<input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> 種類（コーキング等） <input type="checkbox"/> F☆☆☆☆の確認
<input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド以外※3 の確認 <input type="checkbox"/> OK <input type="checkbox"/> 要確認	<input type="checkbox"/> トルエン <input type="checkbox"/> キシレン <input type="checkbox"/> その他

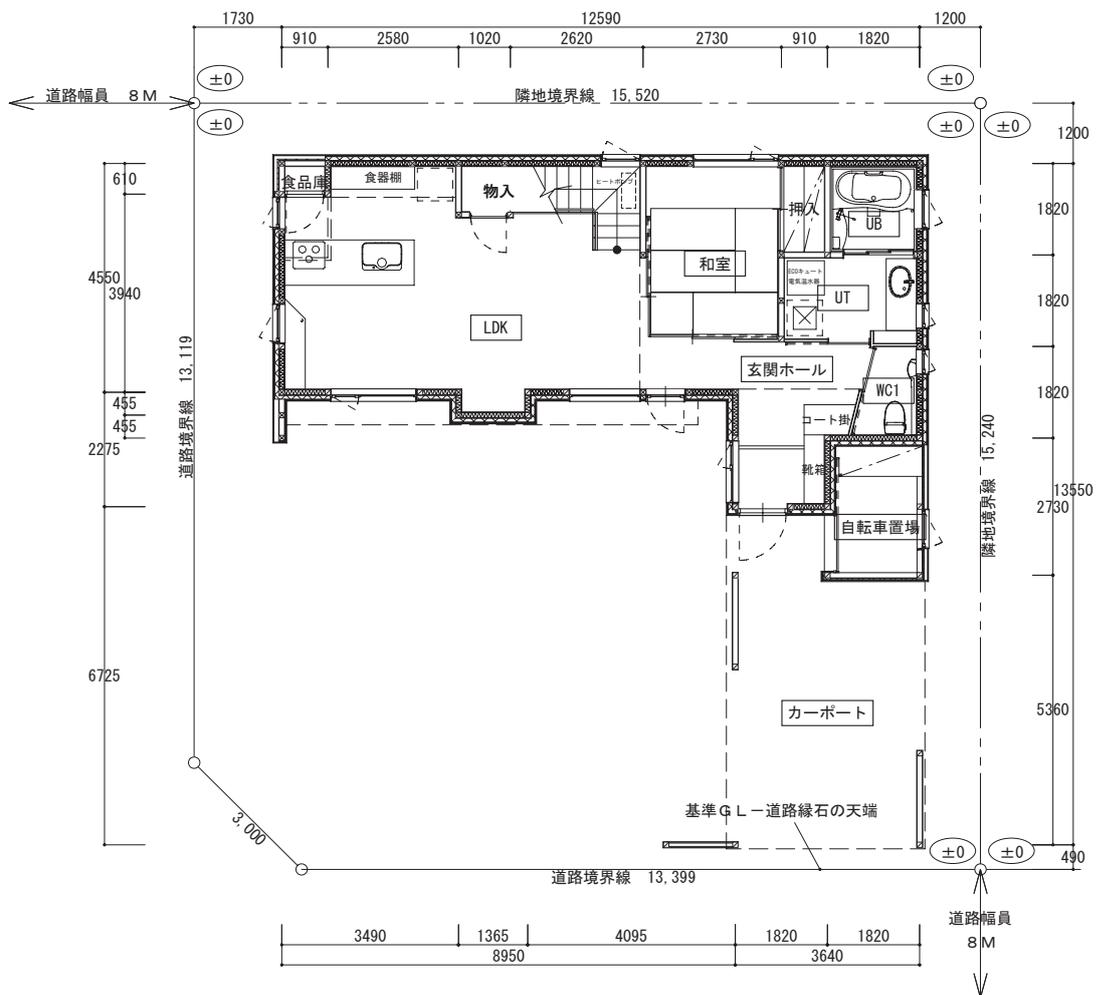
※3 建築基準法では、シックハウス対策として、ホルムアルデヒドを対象にしていますが、国（厚生労働省）では、ホルムアルデヒド以外の化学物質も対象としています。  
 F☆☆☆☆は、ホルムアルデヒドだけに着目した表示ですので、その他の化学物質について気になる方は、別途検査が可能です。



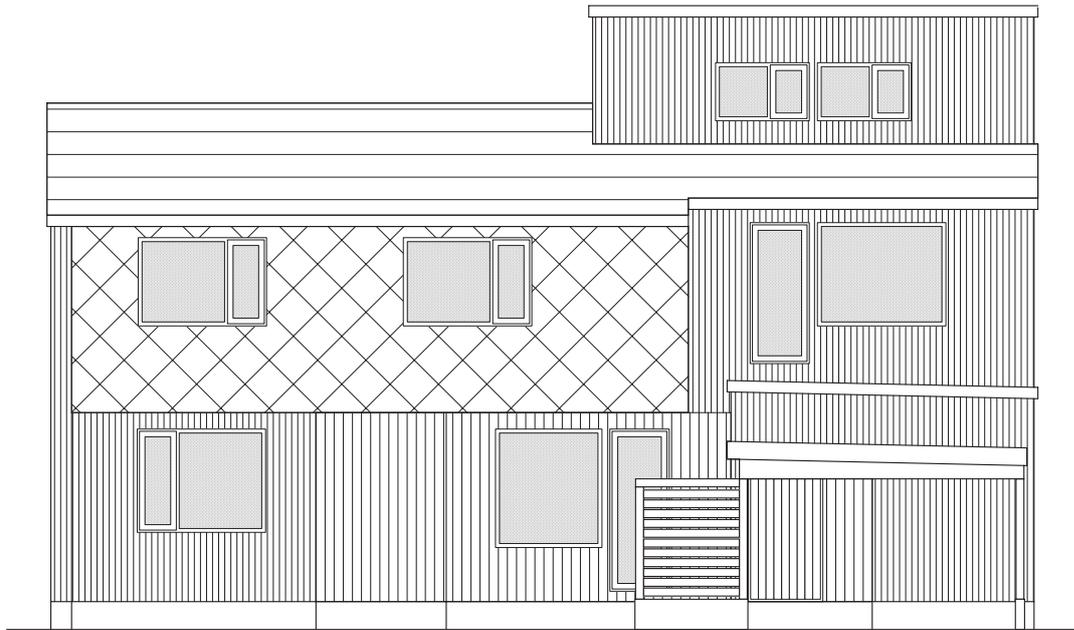




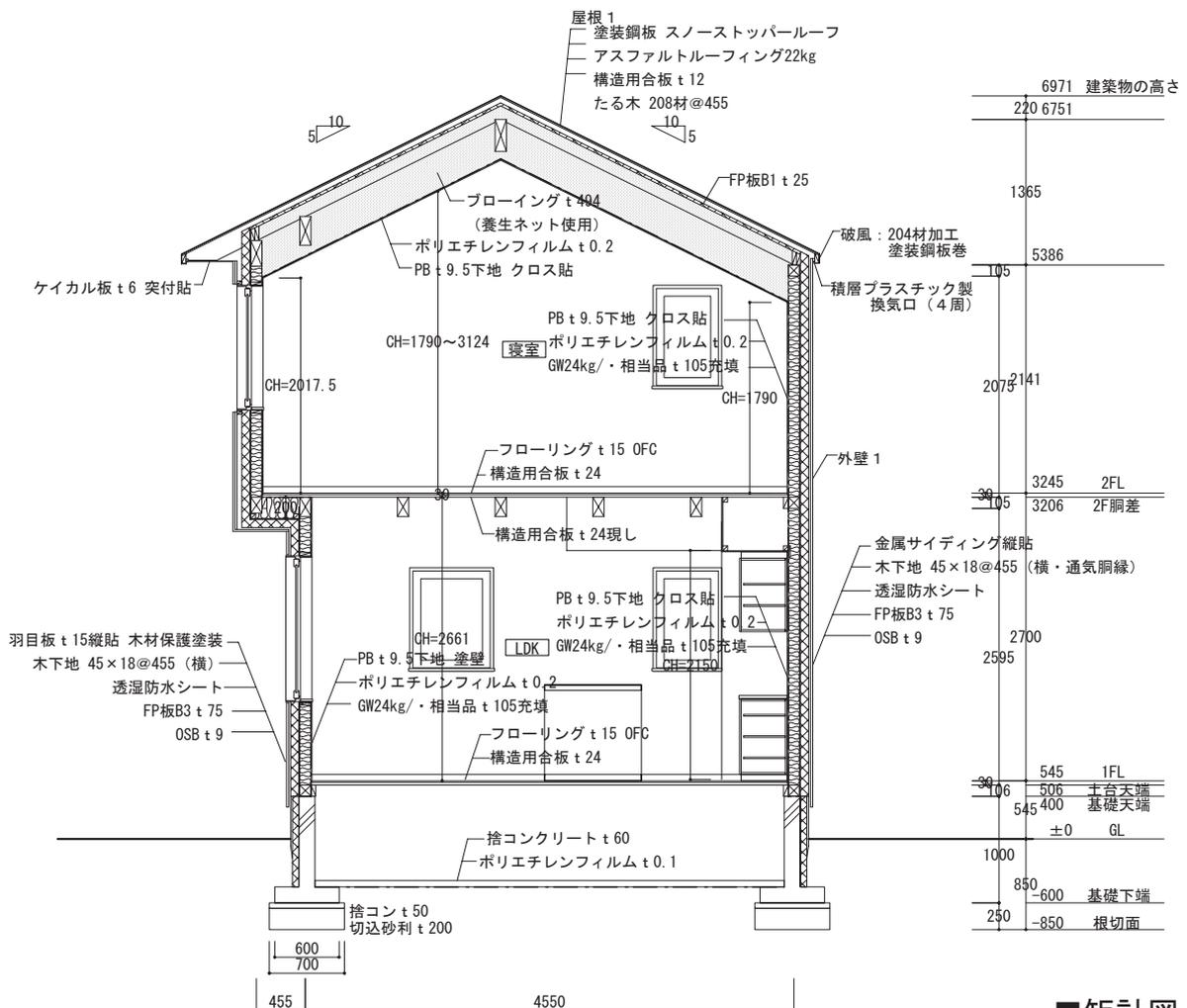
■ 2階平面図



■ 1階平面図・配置図



■ 立面図



■ 矩計図





建て主も現場へ行こう  
住宅の現場チェックシート

---

発行 平成 25 年 2 月  
増刷 平成 28 年 3 月  
編集 北海道建設部住宅局建築指導課  
発行 (一財)北海道建築指導センター

きた住まいるサポートシステム <http://www.h-rireki.jp/users/login>  
北海道住まいの総合情報「D o 住まい」 <http://www.do-sumai.jp/>